

キンダーブック2 5月号

表紙の
絵から

持っていたカラフルな風船が飛んでいってしまったぞうさん。すると、鳥たちがやってきて、紐をしょうずにくわえて取ってくれました！ ぞうさん、鳥さんたち、それぞれの気持ちを考えて発表してみてもよいですね。



かんざつ
身近な不思議を知ろう

どうぶつえんに いこう！

ねらい 動物の生態を知り、発見や気づきにつなげましょう。



子どもたちに見たことがある動物や知っている動物などを話してもらいましょう。そして、誌面を見ながら動物園にはいろいろな種類の動物がいること、それぞれのからだの特徴などに気づかせる声かけができるとよいですね。

ネコ科の動物たちが紹介されています。どんなところが同じかな？ どんなところが違うかな？ と聞いてみるのもよいですね。人間と比較して「みんなも得意なことが違うよね」など話してみるのもよいですね。



「カバの口はどれくらい大きいと思う？」と子どもたちに想像してもらってからページをめくりましょう。「がばっ！」としかけの迫力を感じられる演出を加えると盛り上がりそうです。



せいぶん
友だちの気持ちを知らおう

「ありがとう」って いい きもち！



ねらい 感謝の気持ちを伝えることのたいせつさに気づき、その心地よさも感じましょう。

つかい方の
ポイント 「どんなときにありがとうと言われたかな？」「どんな気持ちだったかな？」と身近な経験を子どもたちに聞いてみましょう。自分からありがとうと言ったときはどんな気持ちだったかも併せて話してもらおうとよいですね。

しよくしよく
食に関心をもちよう

はるに おいしい たべもの



ねらい 季節によって旬の食べ物があり、いつもよりおいしく食べられることを伝えましょう。

つかい方の
ポイント 実際に旬の物が手に入れば、においや触感など、五感で季節を感じて子どもたちの興味、関心につなげましょう。食べたことがある物、知っている物などに話題を広げてみるのもよいですね。

「キンダーブック2」を 保育にご活用ください！

絵本をつかった指導計画の文例



カレンダーがついた
行事コーナーの誌面が
ダウンロード
できます！

<https://kinderbook.froebel-kan.co.jp/DL/kb2/>

コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域	10の姿
<p>かんざつ 身近な不思議を知ろう</p> <p>「どうぶつえんに いこう！」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 動物園にはさまざまな動物がいることを知る。 動物の特徴の違いを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな動物の種類、生態について説明できるよう絵本や動物の写真などを用意しておく。 子どもたちが興味をもったときに、観察したり調べたりできるように図鑑などを用意しておく。 	<p>環境</p> <p>言葉</p> <p>表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな感性と表現 自然との関わり・生命尊重
<p>せいぶん 友だちの気持ちを知らおう</p> <p>「ありがとう」って いい きもち！」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ありがとうという経験、言われる経験を日々の生活のなかで体験する。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者が日々の生活のなかで「ありがとう」ということばを意識的につかっていく。 子どもたちが「ありがとう」ということばをつかっている場面をみんなに改めて伝え、よいことばだという認識につなげる。 	<p>言葉</p> <p>人間関係</p> <p>表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> 道徳性・規範意識の芽生え 思考力の芽生え 言葉による伝え合い